



● 草の根パートナー型

パートナー型フォローアップ案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	中華人民共和国
2. 事業名	河南省駐馬店市の貧困村における自立支援プロジェクト（パートII）
3. 事業の背景と必要性	モデル地に関わった村民は、先行事業によって環境改善型の農畜産業の基礎技術を理解し、その重要性和必要性を理解し、上位目標に向け必死に取り組んでいる。 しかし、先行事業の目標を達成出来つつあるものの予算の関係で、1) 土壌改良が小規模であったこと、2) 厳冬期に加温施設がない為、イチゴの安定した収穫が得られなかったこと、3) 分娩子豚の室温管理を徹夜状態で交代で行い殆ど休みがとれなかったことが課題として残った。先行事業は、2011年7月末で終わる予定であるが、上位目標を確実に達成させるために、引き続き2年延長を希望する。2年の延長で、上記課題を解決し、2011年4月に作成予定の事業化計画を着実に実行できるように支援を続けることが可能となる。また、村の環境改善型有機農業の取組を村外に広く知ってもらおう活動やその取組で生産される農畜産物のブランド化に向けた活動（尖閣問題で中断状態になった活動を再開）を村民と一緒に行うことができ、収益アップに繋げることが可能となる。
4. プロジェクト目標	モデル地の全農地（約15,000平方メートル）の土壌改良を行う為、周辺で排出される糞と家畜糞尿で本格的にたい肥をつくり、ハウスと豚舎の冬場対策を講じ、安定した経営が可能となる環境改善型有機農業が行えるように指導・実践し、生産された農畜産物のブランド化を目指すと同時に、2011年4月に作成予定の事業化計画が上位目標に向かって着実に実行される体制が構築されている。
5. 対象地域	河南省駐馬店市上蔡県文楼村
6. 受益者層 （ターゲットグループ）	文楼村村民約800人
7. 期待される成果及び活動	<成果> 1. モデル地の全農地（約15,000平方メートル）の土壌が改良できるだけのたい肥を作ることが可能なたい肥舎の建設と本格的なたい肥づくりの技術指導と実践 2. 春節前に安定的に収穫できるようにイチゴハウスへの暖房設備の導入と管理方法の指導 3. 分娩子豚の冬期の管理を安定化させるための暖房設備と管理方法の指導 4. プロジェクトの活動と環境改善型有機農畜産業で生産された安心・安全な農畜産物などがPRできるホームページの立上げと運用に向けた指導 5. 先行事業で2011年4月に作成予定のモデル地の事業化計画が実行されていることを確認できるように決算報告書等の作成に向けた指導と村民に向けた公表活動 <活動> 1. たい肥舎の設計・製造とたい肥製造技術と運転管理指導 2. イチゴハウスの暖房設備の導入と温度管理と栽培技術の指導 3. 分娩子豚の冬期の管理を安定化させるための暖房設備の導入と管理方法の指導 4. 定期的な土壌分析、生産された農畜産物の残留農薬の検査とホームページによる公表 5. モデル地の事業決算報告書の作成と公表
8. 実施期間	2012年1月～2013年12月（2年）
9. 事業費概算額	17,480千円
10. 事業の実施体制	実施主体：アジア環境研究所 カウンターパート：河南省慈善總會 技術サポーター：九州大学（畜産技術）、下関日中友好協会（農畜産技術）、河南省農業科学院（土壌分析、残留農薬分析）
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	株式会社アジア環境研究所
2. 活動内容	食品残さ等の未活用バイオマスを微生物などによる培養発酵技術による飼料化や堆肥化、あるいは免疫賦活効果や癌抑制効果を持つ機能性成分の抽出技術の開発と実用化（事業化）